

平成 22 年度 県西ブロック中学校サッカー新人大会
大会実施要項

- 1 大会役員
- 運営委員長 桑原紀明（箱根中）
 - 運営委員 県西ブロック中学校体育連盟サッカー専門部員
 - 審判長 杉本哲也（相洋中）
 - 審判員 県西ブロック中学校体育連盟サッカー専門部員および有資格者
 - 会場責任者 湘光中学校（多田 徹） 城北中学校（城所哲夫）
白山中学校（山本圭悟） 文命中学校（諸星雅章）
箱根中学校（桑原紀明） 湯河原中学校（長田裕一郎）

2 期日・会場

	10/23 土	10/24 日	10/30 土	10/31日	11/3水	11/6土
湘光中学校			○	○	○	予
城北中学校			○	○	予	
白山中学校	○	予	予			
文命中学校	○	予				
箱根中学校	○	予				
湯河原中学校	○	予	予			

*大会打ち合わせ 平成22年10月8日（金） 15：30～ 小田原市立城北中学校

3 大会規定

- ・（財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2010/2011」による。
- ・交代については、試合前登録した9名までの交代要員のうち9名までが自由な交代をすることができる。
なお、ベンチ入り可能な選手は、メンバー登録された20名とする。（登録は試合ごと20名とする）
- ・主審に退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。違反行為の内容によって、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。
- ・警告は累積し、2枚累積した選手は、次の1試合に出場できない。（決勝トーナメントに進出しても累積する）
- ・試合開始10分前までに、エントリー票を2部提出する。
- ・試合前のピッチを使用しての練習時間については、次の通りとする。
1 試合目のチーム・・・チェック前の10分間
2 試合目以降のチーム・・・前の試合のハーフタイムとチェック前の5分間
- ・試合形式は、予選リーグ、決勝トーナメント（各ブロック1位・2位）、およびチャレンジマッチ方式とする。
- ・試合時間は予選リーグ40分、決勝トーナメント60分とする。インターバルは予選は5分程度、決勝トーナメントは10分程度とする。
- ・予選リーグは勝ち点制（勝ち：3、引き分け：1、負け：0）とし、勝ち点が高い場合は、①対戦結果 ②PK方式で順位を決定する。
*予選に関して3チームが同順位の場合は、PKをリーグ戦で行う。（PKは試合順で行うものとする）
- ・予選リーグから、上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。3位チームがチャレンジマッチへ進出する。
（決定は相談・抽選）
- ・決勝トーナメントで勝敗の決しない場合は、PK方式により次の試合へ進出するチームを決する。
- ・チャレンジマッチで勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ・交代用紙は、決勝トーナメントより使用する。

4 申し合わせ事項

- ・試合球は、各チーム持ち寄りとする。(5号手縫い検定球) ただし、2日目以降の決勝トーナメント、チャレンジマッチについては本部で用意する。
- ・生徒は、各中学校で認められた服装・頭髪で参加する。
- ・ユニフォームは異色のもの(色と白が望ましい)を使用する。また、前番号をつけることが好ましい。
- ・各校顧問は、保護者の大会参加承諾書をまとめておく。
- ・引率教師のいないチームは参加できない。
- ・試合会場に持参したものは必ず持ち帰る。特にゴミの始末をしっかりと行う。
- ・第1試合のチームは会場準備を、最終試合のチームは後かたづけとグラウンド整備を行う。
- ・審判は、試合開始5分前に先発メンバーのユニフォーム・スパイク・すねあて・装身具の確認を行う。
- ・各校顧問は、大会期間中に運営委員として審判、会場運営等に携わるものとする。
- ・次のメンバーで規律委員会を組織する。

(専門部長 審判長 当該試合の会場責任者および審判員)

- ・今大会は県西ブロック中学校体育連盟サッカー専門部として、サッカー競技全般に関する中学生の育成を図るため、チームの帯同審判として中学生有資格者が副審として参加することもある。
- ・審判割当等については、別途定めるものとする。
- ・チャレンジマッチについても、登録用紙、交代用紙を使用する。

5 表彰

- ・決勝トーナメント優勝チームには、賞状・優勝杯を授与する
- ・決勝トーナメント準優勝および第3位のチームには賞状を授与する。